

令和5年度 三重県軟式野球連盟 一般大会 各大会試合運営表

大会名	参加クラス	試合形式				注 釈
		組合せ	イニング	点差コールド	時間制	
東日本軟式野球大会 (1部)(2部) 高松宮賜杯 (1部)(2部)	B・C	1・2回戦	7回	5回 7点	105	通常延長なし、同点の場合は引き続きタイブレークを行う。 試合開始後1時間45分を超えて(5回を終了後)新しいイニングに入らない。点差がある場合は試合成立。 タイブレークを最長3回まで行い、なおも同点の場合は抽選で決する。
		準決勝戦	9回	〃	135	通常延長なし、同点の場合は引き続きタイブレークを行う。 試合開始後2時間15分を超えて(7回を終了後)新しいイニングに入らない。点差がある場合は試合成立。 タイブレークを最長3回まで行い、なおも同点の場合は抽選で決する。
		決勝戦	9回	〃	なし	通常延長なし、9回まで行う。(点差コールド除く) 同点の場合は勝敗が決するまでタイブレークを行う。
東海五県軟式野球大会	A・B・C	1回戦 ～準決勝	9回	〃	135	通常延長なし、同点の場合は引き続きタイブレークを行う。 試合開始後2時間15分を超えて(7回を終了後)新しいイニングに入らない。点差がある場合は試合成立。 タイブレークを最長3回まで行い、なおも同点の場合は抽選で決する。
		決勝戦	9回	〃	なし	通常延長なし、9回まで行う。(点差コールド除く) 同点の場合はタイブレークを勝敗が決するまで行う。
天皇賜杯 全日本軟式野球大会 ENEOSTーナメント	A・B・C	1回戦 ～準決勝	9回	5回 7点	なし	通常延長なし、9回まで行う。(点差コールド除く) 同点の場合は勝敗が決するまでタイブレークを行う。
		決勝戦		7回 7点	MAX 180	決勝戦は全国大会ルールを適用。 点差コールドは7回7点差、試合開始後3時間を超えて新しい延長イニングに入らない。 前記を終了しても同点の場合は、勝敗が決するまでタイブレークを行う。
A級大会 水戸市長旗東日本大会 中日都市大会 ◎ 一次トーナメント ◎ 決勝トーナメント 第1日 ◎ 準決勝戦 第2日	A	1回戦 ～準決勝	9回	5回 7点	なし	通常延長なし、9回まで行う。(点差コールド除く) 同点の場合はタイブレークを勝敗が決するまで行う。
		決勝戦		7回 7点	MAX 180	決勝戦は全国大会ルールを適用。 点差コールドは7回7点差、延長戦は12回(最長3回)まで、もしくは試合開始後3時間を超えて新しい延長イニングに入らない。 前記を終了しても同点の場合は勝敗が決するまでタイブレークを行う。
県C級軟式野球大会	C	全試合	7回	5回 7点	105	試合開始後1時間45分を超えて(5回を終了後)新しいイニングに入らない。点差がある場合は試合成立。 同点の場合はタイブレークを最長3回まで行い、なおも同点の場合は抽選で決する。 決勝戦は勝敗が決するまでタイブレークを行う。
県BC級軟式野球選手権大会	B・C	〃	〃	〃	〃	同上
みえスポーツフェスティバル	なし	〃	〃	〃	〃	同上
県壮年軟式野球大会 40歳以上	〃	〃	〃	無	90	全試合7回戦 7回以内でも1時間30分で試合を打ち切る。(得失点差の関係上、最終回の裏の攻撃を完了すること。)
日本スポーツマスターズ 40歳以上	〃	〃	〃	5回 7点	105	試合開始後1時間45分を超えて(5回を終了後)新しいイニングに入らない。点差がある場合は試合成立。 同点の場合はタイブレークを最長3回まで行い、なおも同点の場合は抽選で決する。 決勝戦は勝敗が決するまでタイブレークを行う。
全日本シニア軟式野球大会 50歳以上	〃	〃	〃	〃	〃	同上